さめがわ

10 October 2013
第714号
平成25年10月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

Public Relations SAMEGAWA

【特別企画】中学生の職場体験

夢と向き合う

実りの秋





1．診療で使うガーゼをたたむお手伝い。（国保診療所）
2．納豆のラベル貼り。一つずつ丁寧に貼り付けていきます。（手・まめ・館）
3．部品を一つ一つ外して、車の構造を学びました。（宗田自動車整備工場）


1


2

【特別企画】　中学生の職場体験

夢と向き合う



藤田恭佳さん

まどか美容室

編み込みやパーマの巻き方などを教えてもらいました。難しかったですが、丁寧に教えてもらえたので楽しくできました。

今回の職場体験で、将来つきたい職業が少しイメージできました。



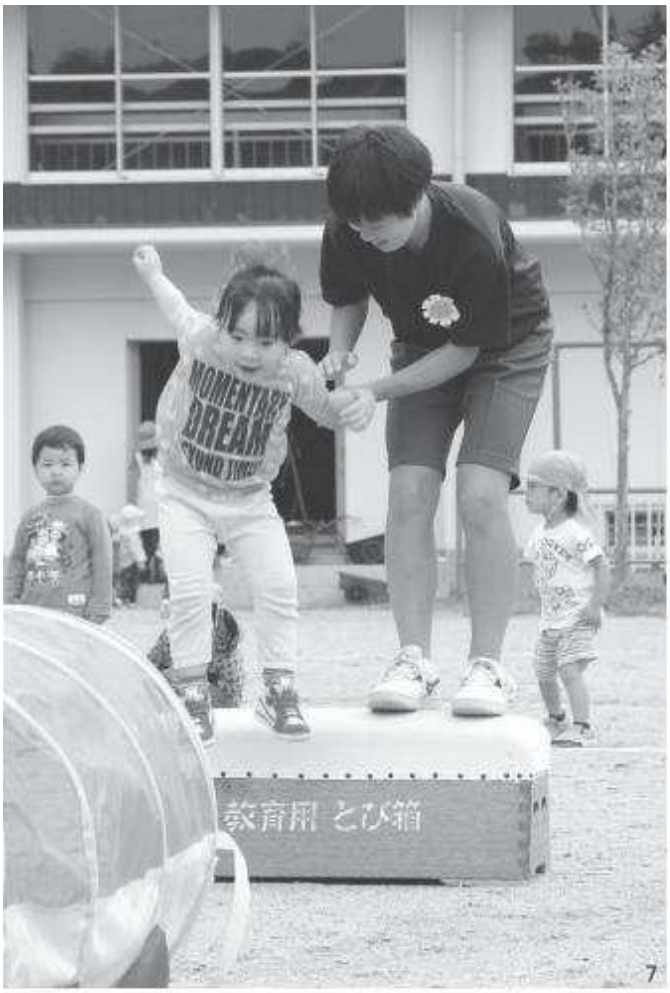
圓井恭輔さん

鮫川小学校

鮫川小学校では、丸つけや日記のコメント書きなどをしました。

僕が小学生だったときは気づきませんでしたが、先生の仕事は思っていたよりも多くて、忙しいことに驚きました。

職場体験を振り返って…









4．編み込みのやり方を教えてもらいました。〈まどか美容室〉
5．図工の時間。一緒に考えたり手伝ったりしました。〈鮫川小学校〉
6．放水訓練を体験。水の勢いが強くて驚きました。〈棚倉消防署鮫川分署〉
7．運動会の練習。お父さん・お母さん役をしました。〈こどもセンター〉
8．広報紙づくりを体験。役場の仕事についてインタビューしました。〈村役場〉

九月十日・十一日の二日間、鮫川中学校二年生の総合的な学習の一貫として「職場体験学習」が行われました。社会で働く人たちとのふれあいを通して礼儀などを身につけたほか、職業に対する理解を深め、自分自身の進路や夢と向き合い、考える機会となりました。

生徒三十四人が村内の事業所など八カ所に分かれ、それぞれの職場で学校の授業では得られない貴重な経験をしました。

役場には、三人の生徒が訪れました。今回、広報紙づくりを体験しながら役場の仕事について取材をし、記事にまとめてもらいました。中学生の日から見た「役場」とは…。

（4・5ページへ続く）





こどもセンター

運動会の練習や子どもたちの補助を手伝いました。実際にお世話をするのは大変でしたが、子どもたちがはしゃいでいるところなどを見るとかわいかったです。仕事って大変だと感じました。

土手内茉奈さん



手・まめ・館

主に商品の袋詰め作業などをしました。職員の人にアドバイスをもらいながら、集中して取り組めたのでよかったです。

職場体験を通して、商品を作る大変さを知りました。

湯座雅貴さん

村民必見!! 役場の真実

INTERVIEWER


Takahito Muto


Yuta Morohashi


Tsukasa Haga

総 務課

総務課では13人が働いていて、３つの係があります。

１つ目の係は、総務係です。仕事は主に３つあります。１つ目は、役場の建物・職員の管理です。２つ目は、災害などから人の命を守る仕事で、主に防災無線の管理などをしています。３つ目は、選挙のお手伝いです。

２つ目の係は、財政係です。予算の使い方をコントロールする係です。鮫川村では、１年間で約56億円ものお金が動いています。

３つ目の係は、税務係です。村税の賦課と徴収の仕事をしています。

この仕事をしていて１番難しいことは、住民にけがなどをさせずに災害などから守ることだそうです。鮫川村は、山が多いので土砂災害が多く、大雨のときが特に大変です。皆さんも雨のときは、山や川には近づかないでください。



text / 武藤貴仁　photo / 諸橋友太

住 民福祉課



住民福祉課には、住民係、福祉係、健康係の３つの係があります。

住民係は、戸籍や農家などの国民健康保険証を扱っています。

福祉係は、高齢者や障害をもっている人たちがさまざまな福祉サービスを受けられるように手続きをしています。

健康係は、健診や保健指導などをしています。今の鮫川村の平均寿命は、男性が78歳、女性が86歳で、女性の方が長生きしています。また、福島県内でみると鮫川村は長生きしている人が多いということを知って驚きました。

住民福祉課は、住民の人たちが生まれてから亡くなるまでの健康や福祉などをサポートする仕事をしています。なので、住民の人たちと接する機会が多く、住民の人たちに合わせて対応することが大事だと話していました。

text / 諸橋友太　photo / 芳賀都加沙

農 林課

農林課は簡単に説明すると、農業関係を管理する仕事です。

最近の課題は後継者不足など、そのほかにもいろいろあるそうです。課長さんは、「今の若い人たちが大人になって、また鮫川に戻ってきてくれれば…なんて」と笑いながら話していました。そのほかにも、最近はお米や野菜などの消費が伸び悩んでいるそうで、農家さんの経営が難しくなっているそうです。



今、特に力を入れているのは、除染問題です。最近では、牛に与える牧草の基準値が100ベクレルになって、それを超えるとエサとして与えられなくなります。そうなると経営が危なくなってしまうので、鮫川村ではアメリカから乾草を輸入して、家畜農家さんに配布しているそうです。

このように、いろいろな農業の課題を解決していくのが、具体的な農林課の仕事です。

text / 芳賀都加沙　photo / 武藤貴仁



武藤貴仁（写真左）

初め役場に来たとき、とても緊張していました。そして、インタビューをすると聞いて「うまくできるかな」と不安でいっぱいになりました。不安を抱えたままインタビューをするとどこかぎこちなく、そんなインタビューで終わってしまったことがとても残念です。でも、なかなかできない貴重な体験なのでやってみて良かったです。２日間、本当にありがとうございました。

諸橋友太（写真中央）

取材や写真撮影などをやらせてもらって、思っていたよりも難しかったです。取材の質問など考えるのも難しくて、話の内容もよくわからなかったので記事にするのがすごく大変でした。でも、写真を撮ったりして、この２日間本当に楽しかったです。いろいろと役場のことを知れたり、役場の人たちに優しくしていただいたり良い思い出なりました。この２日間の貴重な体験を将来に生かしていきたいと思います。この２日間、お世話になりました。本当にありがとうございました。

芳賀都加沙（写真右）

職場体験で役場にきて楽しかったことは、パソコンをカタカタすることです。疲れるけど、大人な感じがして楽しかったです。難しかったことは、取材です。緊張して何を言うのか忘れてしまいました。

そして、役場の皆さん、取材を受けてくれた皆さん、多忙なスケジュールの中、ありがとうございました。

教育課

教育課は幅広い世代の人たちの応援をしています。例えば、来年入学する小学１年生の健康診断や学校説明会などを開いたり、図書館で新しい本を購入したりと、いろいろなところで私たちを助けてくれています。



ほかにもスクールバスの運行などで応援してくれています。こどもセンターや鮫川小学校、鮫川中学校のバスの運行など、鮫川村民にとってなくてはならない大事なものの管理をしています。

社会学級などもそうです。社会学級とは、いわばお年寄りの学校です。大切なことを教えてくれるすてきな学校です。

そして驚いたことに、教育長さんが私たち中学生に取材させてくれました。教育長さんは笑顔でこうおっしゃっていました。「仕事は早め早めに」と。その言葉を胸に、宿題は早め早めにしようと思いました。

text / 芳賀都加沙　photo / 武藤貴仁

企画調整課

企画調整課には、企画振興係、商工観光係、国土調査係の３つの係があります。

企画振興係は、村の長期計画や総合整備計画など、村づくりについて考える仕事をしています。また、今回の職場体験で作った広報紙もここで作られています。

商工観光係は、商工業関係や観光の仕事をしています。そのほかに、都会から来た大学生などに農業を体験してもらったりして、都会の人たちと交流しています。うまいもの祭りを開く手伝いなどもしています。

国土調査係は、土地の境界を決める仕事をしています。

企画調整課は、鮫川村全体の将来のことを考えて、「どのような村づくりをしていくか」ということについて、ほかの課や村民の人たちの意見をまとめる所なんだと思いました。



text / 諸橋友太　photo / 芳賀都加沙

地域整備課

地域整備課では８人が働いていて、２つの係があります。

１つ目の係は、建設係です。道路や住宅を作ったり直したりして鮫川村を整備する係です。狭い道路を広くしたり、住宅を作ったりするのが主な仕事です。また、道路は国道・県道は県が管理し、村道・林道・農道は村が管理しています。



２つ目の係は、環境係です。水道・下水道の点検や管理、浄化槽関係、ゴミ、犬の登録・注射が主な仕事です。

この２つの係で特に大切なのが、村民の方々の生活に関わる道路や住宅を整備すること、安全な水を安定的に配ること、下水道、ゴミの管理だそうです。

この仕事をしていてやりがいを感じることは、自分たちが苦労して作ったものがずっと残り、それをいつも見られるということです。

text /武藤貴仁　　photo / 諸橋友太

村内産こだわり堆肥販売開始
有機たい肥「ゆうきくん」

今年二月下旬から運用を開始した村豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」では、このほど堆肥が完成しました。ぜひ、ご利用ください。

料金

本来、1トンあたり4500円の料金設定ですが、堆肥利用促進のため村内に住所がある方に限り3割引きの料金で販売します。また、配達や散布も行っていますので、詳しくは表1をご覧ください。

販売場所

村豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」

特徴

牛ふんや豚ふん、落ち葉、もみがらなどを原料に使用し、ローダーを利用した堆積発酵で約150日かけて発酵させたこだわりの堆肥です。そして、作物のうま味をあげるミネラル分が豊富に含まれています。

なお、原料および完成した製品については、放射性物質検査を行っています。

問 村豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」☎49-3473（平日の午前9時から午後4時まで）／「てまめ・館」☎49-2556

■料金（表1）

		価格
バラ堆肥	配達なし	村民 3,150円／トン 村民以外 4,500円／トン
	配達あり	村民 3,500円／トン 村民以外 5,000円／トン
袋詰め堆肥	1袋あたり40キログラム	400円／袋

※配達は、1トンから承ります。
※散布の申し込みは、村内に住所がある方を対象に、下限面積を1圃場あたり5アールとし、依頼面積合計が20アール以上の場合に行います。また、10アールあたり1,500円の散布料金をいただきます。

仮設焼却炉事故の原因究明結果報告

9月25日に開催した「第7回仮設焼却炉監視委員会」で、環境省から村仮設焼却炉監視委員会へ主灰コンベア破損事故についての詳細な原因究明の結果が報告されました。

事故の原因は、運転マニュアルに反して主灰を排出する際に開放するゲートを開けた状態で焼却炉を運転したことです。それによって、可燃分を含む灰が主灰コンベアにこぼれ落ち、一酸化炭素などの可燃性ガスが発生。さらに、焼却炉からの灰が火種となって着火し、一気に異常燃焼し主灰コンベア内の圧力上昇を招き、破損・変形に至りました。

事故の再発防止のために、人為的なミスの防止と仮にミスがあったとしても事故につながらない設備への改良および運転管理体制の強化、施設全体の改良対策を行います。また、環境省において外部有識者による委員会を設置し、指導・助言を受けて事業の監督を行う強化体制を図る考えです。

村仮設焼却炉監視委員会では、仮設焼却炉の運転停止後も毎週金曜日に施設周辺の空間線量を測定しています。なお、空間線量と関連ファイルについては、村ホームページおよび環境省ホームページで公表しています。

■施設周辺の空間線量（9月20日実施）［μSv/h］

モニタリングポスト測定値	測定箇所	値	仮設焼却炉周辺の測定値	測定箇所	値
	仮設焼却炉入口	0.13		施設東側120m	0.15
	青生野小学校	0.13		施設南側120m	0.16
	朝日山登山道入口	0.12		施設西側120m	0.18
	青生野肥育組合	0.15		施設北側120m	0.19
	鹿角平観光牧場	0.10		仮置場看板付近	0.10
				石久保線起点	0.15
				石久保線終点	0.14
				和協管理棟付近	0.17

問 村地域整備課環境係☎49-3196

乳がん・子宮頸がん・骨粗鬆症検診で早期発見

早期発見と健康の保持増進を目的に検診を実施します。受診を希望する方は、役場住民福祉課健康係へ申し込んでください。

また、特定の年齢に達した方に対して、検診費用が無料となる「無料クーポン券」と「検診手帳」を配布していますので、村の集団検診または指定医療機関の個別検診のどちらかを選択して受診してください。無料クーポン券の有効期限は、平成26年1月31日です。

料金　500円（無料クーポン券対象者および75歳以上は無料）

集団検診会場　保健センター

個別検診指定医療機関　塙厚生病院☎43-1145※早めに予約をして期限内に受診してください。

乳がん検診

集団検診日程　10月7日(月)・8日(火)、11月11日(月)

対象者　40歳～80歳

子宮頸がん・骨粗鬆症検診

集団検診日程　表2のとおり

対象者　▼子宮頸がん検診…20歳～80歳▼骨粗鬆症検診…30歳～80歳

問　村住民福祉課健康係☎49-3112

■子宮頸がん・骨粗鬆症検診の集団検診日程（表2）

実施日	受付時間	対象地区
10月29日(火)	午前8時30分～午前9時30分	赤坂西野区 西山区 赤坂中野区
11月5日(火)	午後1時～午後1時30分	赤坂東野・石井草区 富田区 渡瀬区 青生野区

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

8月14日～9月13日検査　[ベクレル/kg]

検査試料	赤坂西野	西山	赤坂中野	東石	富田	渡瀬	青生野
オクラ	不検出	不検出			7		不検出
キュウリ	不検出	不検出		不検出	不検出		不検出
ミョウガ	不検出	不検出		不検出			4
トウモロコシ	不検出	不検出			不検出～5		
カボチャ		不検出	8～9	不検出～5	不検出～5		不検出
ジャガイモ		不検出		不検出	不検出	不検出	不検出
スイカ				不検出	6		不検出～19
ハヤトウリ	不検出	不検出					
ピーマン				不検出～7	不検出～16		不検出
トマト				不検出～9	不検出		不検出
ナス			19	不検出	不検出		
ゴーヤ		不検出		不検出	不検出		
カラシ		不検出		不検出			不検出
ブドウ						不検出～12	
リンゴ						不検出	
イノシシ肉				270			

■問い合わせ　村農林課☎49-3114

鮫中生の活躍光る
県・全国へ挑む

今年度、中体連や陸上大会で多くの生徒が県大会出場を果たすなど、中学生の活躍が目立ちます。
今回は、近年にない活躍を見せてくれた走幅跳の須藤悠太さん、男子駅伝の皆さんを紹介します。さらなる活躍を期待して…。



須藤悠太さん　2年

県ジュニア陸上競技選手権大会 走幅跳　優勝

鮫川中２年の須藤悠太さんは、９月１日にいわき陸上競技場で行われた「平成25年福島県ジュニア陸上競技選手権大会」に出場し、男子中学生Ｂの走幅跳で見事優勝を果たしました。

全国大会となる「ジュニアオリンピック」は10月27日、日産スタジアム（横浜市）で開催されます。

悠太さんは「鮫川村、福島県の代表として日産スタジアムで最高のパフォーマンスをしたいです。当日までに一生懸命練習に取り組みたいです」と意気込みを話してくれました。



鮫中男子駅伝

東西しらかわ中学校駅伝競走大会 男子総合　優勝

９月３日、西郷村台上コースで行われた「第７回東西しらかわ中学校体育大会駅伝競走大会」で、鮫川中学校（男子）が初優勝を果たしました。

大会には、県南地区から18チームが参加。２位の南中（白河市）と１秒差という接戦を制しました。また、１区の目黒司さんが区間賞を獲得しました。

「朝と放課後に行ってきた練習量の多さと３年間の積み重ねが勝因となりました」と佐藤校長は話します。

県大会は10月１日に開会式、２日に競技が同会場で開催。開会式では、目黒司さんが選手宣誓を行います。

―― 県大会の抱負 ――

【1区】目黒司さん
1区でいい流れを作って後半につなげられるようにしたいです。

【2区】須藤康太さん
県南地区の代表として頑張りたいです。そして、東北大会に出場したいです。

【3区】鈴木蓮さん
県南大会では抜かされてしまったので、県大会では悔しい思いをしないように走りたいです。

【4区】青戸悠之介さん
競ったときに気持ちを強く持って競り負けないようにしたいです。

【5区】宗田真也さん
大会の雰囲気にのまれないように、しっかりと走りたいです。

【6区】三瓶浩斗さん
ベストの状態で県大会に臨んで、先生や親に感謝して走りたいです。

moe・ryoku／緑のふるさと協力隊・遠山陽子さんの鮫川村体験記





1. 種類の多さに驚いたカボチャ
2. どんぶりいっぱいになるくらいのクルミを拾いました。

クルミとカボチャ。「食欲の秋」が始まる予感

つい この前、「ようやく暑くなってきた」と思っていたら、アッという間に涼しくなってきました。九月五日から七日までの三日間は協力隊の中間研修で東京に行っていたので、東京との気温差もあってか余計に涼しさがこたえます。むしろ涼しいを通り越して寒いです。あまりの寒さに早くも冬の掛布団を引っ張りだす始末。こんな調子で冬を過ごせるのか、早くも心配になってきます。

鮫川に来て半年が過ぎましたが、先日、初めて朝日山に登りました。登山道入口近くまでは一度行ったことはあったのですが、登ったのは初めて。グリーンツーリズムの実習で来ていた大妻女子大の皆さんと登った山中には、ツリフネソウやサンショウウオ、大量のアゲハチョウの幼虫などなど。特にサンショウウオを探しているときなど、一人ではしゃいでいた気がします。山頂に登るといわき方面にはうっすらと海が見えました。下山時には雨に降られたものの、楽しい朝日山登山でした。

「初」といえば、先日初めてクルミを拾いました。殻をいって少し開いた隙間に刃を入れて中身を取り出す。面倒なようですが、きれいに取れると気持ちがよくてはまりそうです。というか、この作業がやりたいがためにクルミを探し歩きそうです。殻を捨てるのはもったいないので、ただ今使い道を考え中。何かいいアイディアはないだろうか…。

そして最近、「手・まめ・館」ではカボチャの見本市でも開いているのかと思うほどいろいろな種類のカボチャが並んでいます。私がわかるだけでも五・六種類は並んでいるのではないでしょうか。中には見たことがないカボチャも並んでいて食べてみたいと思うのですが、一人暮らし故になかなか手が出ません。ただでさえ我が家にも四種類のカボチャがあるので、これ以上増やしては食べきれません。いっそのこと、カボチャを主食にしようかと思う今日このごろです。

収穫時期を迎えそうな黄金色の稲を見るたびに、ますます秋を感じます。今年は食欲の秋になりそうな予感がひしひしとします。





3. 初めて登った朝日山。山頂からの眺めを楽しみました。
4. 朝日山登山道で出会ったサンショウウオ

facebook はじめました。
「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」です。「いいね！」お願いします。

舘山公園ビオトープの整備進める
東京農大短期大学部「緑地工学実習」



ビオトープ内に橋を作る学生たち

東京農業大学短期大学部環境緑地学科の緑地工学実習は８月17日から23日までの７日間、村内で行われました。学生46人が参加し、舘山公園内のビオトープにウッドデッキや階段を設置するなど、緑地工学を学びました。

練習の成果を発揮
少林寺で全国大会優秀賞を獲得



優秀賞に輝いた藤田さん（左）と塩田さん（右）

少林寺拳法福島鮫川道院拳友会の藤田大成さん・塩田和也さんの組が８月10日に日本武道館で開催された「全日本少年少女武道錬成大会」少年４級の部で優秀賞を獲得しました。「緊張しないで、技の正確さに気をつけたことが良かった」と振り返りました。

日頃のご支援に感謝
鮫川たんぽぽの家感謝祭



一斉に風船を飛ばす参加者

鮫川たんぽぽの家感謝祭は８月31日、同施設で行われ、多くの来場者でにぎわいました。会場では、同施設で作っている商品を販売したほか、風船飛ばしや踊り、演奏などの催しが次々と繰り広げられ、来場者を楽しませました。

名門オーケストラが村民を魅了
京都大学交響楽団演奏会



大勢の観客でにぎわった演奏会

京都大学交響楽団演奏会は８月25日、村農業者トレーニングセンターで行われました。演奏会では、クラシックの名曲のほか、「鮫川村民の歌」や「こどもセンター園歌」などのなじみ深い曲も演奏され、来場者を魅了しました。

村政TOPICS

都市住民に村の「食」をアピール



郷土料理づくりを学ぶ参加者

鮫川村の「食」をアピールするための出張料理教室「まめで達者な料理教室」は、九月七日に東京都北区の赤羽文化センターで開催しました。

今回が初めての開催となる料理教室には、東京都北区の一般区民三十人が参加。村からは村食生活改善推進員「ひまわりの会」会員十人が講師として出向き、大豆やエゴマをはじめとした村内産の食材を使った郷土料理づくりを指導しました。

参加者たちは、初めて知る工ゴマの調理方法や村内産の大豆製品などのおいしさに感心していた様子で、「食」を含めた鮫川村の魅力を堪能しました。

生産地（村）と消費者（都市住民）が相互理解を深め、

ほっとニュース

800人の長寿を祝う
平成25年度鮫川村敬老会

平成25年度鮫川村敬老会は９月14日、村農業者トレーニングセンターで開催しました。今年は、満75歳以上の800名（男性309名、491名）を招待。村の最高齢は関根ミツさん（荻ノ沢）で満103歳です。

敬老会では、大樂村長が「幾多の困難を乗り越え、地域振興にご尽力いただいたことに感謝を申し上げます」とあいさつし、米寿、80歳到達者、金婚夫婦に記念品を贈呈。来賓祝辞のあと、子どもたちが高齢者に感謝する作文を朗読しました。

敬老会終了後には、恒例となっているアトラクションが行われ、ふるさと文化芸能クラブと村内７地区ごとに組織する高齢者支援団体が歌や踊りなどを披露し、参加者は楽しいひとときを過ごしました。





上／アトラクションを楽しむ招待者　左／長寿を祝い記念品が贈られました

むし歯のない子は３人
８月９日実施の３歳児健診

８月９日に村保健センターで実施した３歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児４人中３人でした。



白坂 春飛（はると）くん

①赤坂西野字茅
②母・美里さん
③毎日、苦手な歯磨きを頑張ってできたね。これからもむし歯にならないようにしようね。



黒田 采花（ことは）ちゃん

①西山字水口
②父・実大、母・美保さん
③毎日、仕上げ磨きを嫌がらずにさせてくれました。



須藤菜々美（ななみ）ちゃん

①赤坂西野字名下
②父・勝美さん、母・美起さん
③「明日もおいしいものが食べられるように、きれいに磨こうね」と仕上げ磨きを頑張りました。

①住所　②保護者　③むし歯にならないために頑張ったこと

農山村の暮らしを体験
大妻女子大学グリーンツーリズム実習



トマト収穫を体験する学生たち

大妻女子大学のグリーンツーリズム実習は９月１日から３日までの３日間、村内で行われました。実習には学生22人が参加。朝日山登山や鮫川和紙を使ったうちわ作り、間伐作業などの林業体験、野菜収穫体験などを行い、農山村の暮らしに触れました。

村政TOPICS

鼓笛パレードなどで交通安全呼びかける

秋の全国交通安全運動期間に先立ち九月二十日、村交通対策協議会と交通安全協会鮫川支部主催の「交通安全鼓笛パレード」が行われました。

村内の交通関係団体のメンバーらが参加し、横断幕を先頭に青生野小と鮫川小児童鼓笛隊の演奏に合わせて広畑地内から鮫川小までを行進し、沿道の村民に交通安全を呼びかけました。

また、鼓笛パレードのあと、「交通安全テント村」が宿ノ入交差点と中野町地内の国道２８９号沿いで行われ、通行するドライバーにチラシなどを配り、安全運転を呼びかけました。



鼓笛演奏をする児童たち

農業の振興と鮫川村のイメージアップを図る機会となりました。

村民【随想】リレー ― 183

鈴木亜希子さん

わたしの今

AKIKO SUZUKI



すずき・あきこ●昭和56年1月生まれ。赤坂西野字大塩在住。主婦。趣味はもの作り。好きな言葉は「明けない夜はない」

結婚を機に鮫川村に来て七年目の今年、双子を出産して一気に五人家族になりました。初めての双子で分からないこともたくさん。出産まで不安や心配の気持ちが大きく、嫌な思いをすることもありました。そんな中、毎日電話をくれて何でも話を聞いてくれた母が大きな支えになり、三十八週で二八六六㌘の女の子、二三四四㌘の男の子を無事に出産しました。

双子の育児というと大変なイメージがあると思いますが、楽しくて面白いんです。大変なのは二倍、だけど楽しさやうれしさは四倍になる。ただそう思えるのもたくさんの手助けがあるからだと思っています。そして、育てられる所にしか双子は授からないという意味も実感しています。家族は、嫌な顔ひとつせず毎日一緒に双子の世話をしてくれます。家族ぐるみで仲のいい友人は、息抜きをしようと食事に誘ってくれます。また、「手・まめ・館」に行くと笑顔で手を貸してくれ、「頑張りなさい」と声をかけてくれます。そのおかげで自分の時間が持て、気持ちに余裕ができたり頑張ろうと気合いが入ったり、かけられた言葉が励みになり自信につながっています。双子を授からなければわからなかった気持ちだと思います。

私は今、この環境で生活できる毎日が楽しくて最高に幸せです。たくさんの人の手助けで今があること、心から感謝しています。

■次は、関根巨樹さん(西山字水口)にバトンタッチ!

俳句

原発のヘリが近づく九月かな　中井　恒峯
豊年に心がはずむ盆踊り　小松ハル工
息絶える蝉はあの世へ足を向け　黒田　寿香
床の間に一輪だけの秋海棠　山本　恵子
秋立つも猛暑続きはおさまらず　松本　精一
大根の芽生い傾き修正す　北條素人坂
コオロギを追いつめ訪ねる出生地　斎須　信子
秋立ちぬどうにもならぬ汚染水　鈴木　米子
禁猟区花そばゆらす雉親子　前田　縫子
骨砕く引導の鉦法師蝉　土竜庵
汚染水漏れさすけあんめが秋刀魚だの　山本五十鈴

短歌

何という国の損失　高校生の体罰に逝く　命と知れば　鈴木イミ子
国家という組織無視して憲法の改正もせぬ現代のエゴは　前田　初
お七夜を迎えし曾孫に赤飯を炊いて祈りぬ未来の成長を　佐藤　春枝
あめつちの恵みに育つ作物の感謝の涙か　朝露光る　矢吹　定子
やや萎えて水の下足もあからさま口程に物云う花の色かも　須藤　幸子
鬼ヤンマ飛び交う朝の家の窓　今日も耕す支度を急ぐ　水野　珠子

さめがわを彩る集い 16

楽しみながら地域や自分のために健康づくり



ビーンズヘルスの会

青戸良一会長／会員50名

村健康運動サポーター・ビーンズヘルスの会は、健康運動を通して村民の体力づくり、健康づくりを手助けすることを目的に活動しています。会員自らが村の健康運動サポーターの講座を受けて知識や技術を身に付け、高齢者を対象とした運動教室の開催やサロンの手伝いなど、主に地区ごとに取り組んでいます。

人に教えることの難しさを感じながらも、うまく伝えられたときには喜びを感じるといいます。また、会員も参加者と一緒に運動や歌、踊りなどを楽しむことで交流を深めたり、参加者が「楽しい」と笑顔になってくれることが会員のやりがいになっています。参加者や地域のためだけでなく、会員自身の健康づくりにもつながっています。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

天翔る
(村山由佳著、講談社)



北海道を舞台に11歳の少女と馬と大人たちが織りなす祈りと希望の物語。「エンデュランス」という乗馬耐久レース。何十㌔ものコースを一人で一頭の馬と走り抜け、馬は完走後も元気でいなければならないという過酷な競技に挑んでいく。

新・13歳のハローワーク
(村上龍著、幻冬舎)



自分の「好き」なことに基準をおき、職業を考えてみる一冊。国語が好き、道徳の時間は眠くならない、休み時間、学校行事が好きなどの項目から514の職業が紹介されている。何にも興味がないとがっかりした子のための特別編もある。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

鍛えられ研がれていたり姑の厳しきものの今更にして　関根　瑞恵
この里に嫁ぎて幾年すぎるやら常に新し田畑の息吹き　満井　清乃
読み取れば自然の教えも限りなし野菜は育つ　心映して　坂本　伊紀
何かあるわれに足らざる訓えもと思索に見れば朝の窓明かり　一平子
迎い火を焚けば仄かな煙のぼり御霊の頬ぬお盆の夕べ　石井　幸子
新盆の巡る身内に新たなる涙の供養思い偲びつ　須藤シツエ
語らいば老いの愚言か頷ける悟りを開く域にはあらねど　松本　一郎
異常なる気象にも負けず実りたる稲穂に送る感謝の心　前田喜三子
暑い夏昼時なれば冷奴箸に浮べて一人涼みぬ　関根ヨネ子
夕すずみうちわ片手に星空を見上げる頬を風が過ぎゆく　藤田千代子
夏休み白河駅に一人来るリックを背負い手を振る曾孫　関根ハナヨ
盆供養家族とともに夫の墓碑水かけ花添え安らぎ祈る　関根　富久
京都大交響曲の演奏に聴衆感激感謝の拍手　板橋　源良
男の孫のつくりし昼餉うまかりき冷やし中華のキュウリ太し　関根キヌ子
記録には限界と未知数の名言も猛暑の列島四十度を超す　矢吹　一二
京都大交響楽団来村し復興支援の演奏に湧く　北條　平

むらの
名人・達人
Vol.15

フォークソング
案山子
かかし／小瀧慎一・中川西宏幸・高田三喜雄／平成 14年結成

お客さんの反応が自信に まずは自分たちが楽しむこと



写真左から、高田さん(B／Co)、小瀧さん(G／Vo)、中川西さん(G／Vo)

七十年、八十年代のフォークソングを完全コピーで演奏するバンド「案山子」。村内に留まらず、県内各地のイベントで年十回以上の演奏を行っています。

平成十四年に結成したバンドは、サイドギターの小瀧慎一さん、リードギターの中川西宏幸さん、ベースの高田三喜雄さんの三人。音楽好き同士が集まり、「どうせやるなら人前で」という思いから結成しました。

フォークグループ「阿呆鳥」の元メンバー・菊池章夫さんとの出会いから各地のイベントに招待されたりアドバイスをもらったりと、演奏経験を重ね技術を磨いてきました。

「青春時代の懐かしい曲が聞ける」と、五十から六十歳代の人たちが特に喜んでくれるといいます。お客さんが一緒に口ずさんでくれたり手拍子をしてくれたり、反応を見られることが楽しみであり、自信につながっています。

自分たちが楽しんで演奏をすることを一番に心がけ、それがお客さんにも伝わって一緒になって音楽を楽しみたいと活動しています。



お客さんからは「楽しそうに伸良くやっているのがいい」と言われるそうです。

若者の広場　No.106

Young Plaza

松本克樹さん

村の人はみんないい人



まつもと・かつき
平成3年5月14日生まれ　22歳
B型　おうし座
趣味は野球
赤坂西野字上在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

小学生からやっている野球です。今は地元の野球チームに入っていて、市町村対抗軟式野球大会にも出ています。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

周りでスノーボードをやっている友達が多いので、今年から始めたいと思っています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

村の人はみんないい人だと思います。地元の青年会や野球チーム、消防団に入っていますが、よくしてくれます。青年会などに入って、今まで関わりがなかった人たちと知り合えたことがよかったです。

■鮫川村に要望などはありますか？

特に思いつかないです。鮫川村が嫌だと思うところもないし、車さえあれば買い物などにも簡単に行けるので不便に感じることもありません。

■

次は、塩田貴史さん（石井草字森ノ前在住）の予定です。

学校だより

（108）

鮫川中学校編

2学期も大活躍！

【東西しらかわ英語弁論大会】
創作の部　第六位
青戸　悠之介（三年）

【小中音楽祭東白川地区大会】
優秀賞　鮫川中学校

【県ジュニア陸上競技選手権大会】
男子B走幅跳　第一位
※全国大会出場
須藤　悠太（二年）

【東西しらかわ中学校駅伝競走大会】
男子総合　第一位
※県大会出場
区間賞（一区）
目黒　司（三年）
女子総合　第五位



上：駅伝大会／下：音楽祭

学び多き、体験学習

九月十、十一日の二日間、総合の体験学習を行いました。

■一学年　自然散策等

一日目は、班別活動で鮫川太鼓、ひだまり荘訪問。二日目は、朝日山登山や江竜田の滝など鮫川の自然散策を行いました。



朝日山登山

■二学年　職場体験

手まめ館や消防署、美容室など、村内八カ所で職場体験を行いました。多くのことを学び、事業所の皆さんにお世話になりました。



職場体験

■三学年　福祉体験

たんぽぽの家でうどん作りや農作業などを体験しました。活動を通して障がいについて学びました。



福祉体験

（文・写真／鮫川中学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

保健・福祉

献血にご協力ください

実施日　10月16日（水）

場所・時間　農産物加工・直売所「手・まめ・館」…午前9時30分～午後1時／役場前駐車場…午後2時30分～午後5時

問　村住民福祉課健康係☎49-3112

■献血対象者など

献血区分	200ミリリットル	400ミリリットル
体重	男性 45キログラム以上 女性 40キログラム以上	男女とも 50キログラム以上
年齢	男女とも 16歳～69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳
献血の間隔	男女とも 4週間後	男性 12週間後 女性 16週間後

※65歳以上の方の献血は、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります

ツツガムシ病にご注意ください

毎年、10月から12月にかけてツツガムシ病が多発します。ツツガムシ病はツツガムシに刺されることにより経皮感染する急性感染症で、人から人へは感染しません。

患者の多くは農作業中にツツガムシに刺されて感染しますので、十分に注意してください。ツツガムシ病を疑うような症状が出ましたら早急に医療機関で受診しましょう。

症状　初期症状は風邪に似ており、5～14日後に体のだるさや食欲不振などの症状が現れ、その後、激しい頭痛や関節痛、悪寒を伴う発熱症状（38～40度）が現れます。注意深く探すと皮膚にかさぶたを伴ったツツガムシの刺し口が見つかります。

予防方法　農作業などで草地や山林に入るときは、素肌の露出を避けましょう。また、作業のあとは入浴やシャワーで身体を洗い流しましょう。また、着替えも大切です。

問　県南保健福祉事務所感染症予防チーム☎024-22-6405

案内

保険料納付相談会

国民年金は、老後やもしものときにあなたの大きな支えとなります。

保険料の納付が困難な方には、納付が免除される制度があり、納付が猶予される制度があります。白河年金事務所では、保険料納付や免除制度の相談会を開催しますので、この機会にご利用ください。

日時　11月9日（土）午前10時～午後3時

場所　役場　2階会議室

問　白河年金事務所☎0248-27-4165／村住民福祉課住民係☎49-3113

8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

10月の担当は――

青生野小学校
保健・給食委員会

澤口琴音さん（4年）
岡部梨音さん（4年）
岡部陽斗さん（3年）



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX　0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
村県民税：第3期
国民健康保険税：第5期
介護保険料：第5期
後期高齢者医療保険料：第3期
※納期限：10月31日(木)

information

第66回鮫川村文化祭
一般作品展作品募集

第66回鮫川村文化祭行事において、文化団体に属さない方の一般作品を募集します。

募集

対象　村内在住者

募集作品　絵画、手芸、写真、陶芸、生け花、木工、竹・わら細工など

募集期間　10月1日（火）～11月28日（木）　※ただし土日、祝日は除きます。

応募方法　村公民館にある応募用紙に必要事項を記入し、作品に添えて応募してください。

展示

展示場所　村公民館　大集会室など

展示期間　11月29日（金）～12月3日（火）午前9時～午後5時　※最終日は正午まで

搬入・搬出

搬入　作品が大きいものや壊れやすいものなどは、11月28日（木）午後1時から午後4時までの間に会場に直接搬入し、飾り付けをお願いします。また、直接搬入する場合、事前に電話で応募内容を連絡してください。

搬出　12月3日（火）午後1時30分以降、会場に直接搬入した方は、直接搬出してください。



問い合わせ　村公民館☎49-3151／FAX49-3152

有害鳥獣駆除隊が出動しています

村内でイノシシやハクビシンなどによる農産物の被害が発生しているため、11月14日（木）まで有害鳥獣駆除隊が出動しています。農地や山林などの私有地を歩く場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。また、隊員の活動箇所周辺では十分に注意してください。

なお、有害鳥獣による農産物への被害が発生した場合は、役場農林課にご連絡ください。

問 村農林課農政係☎49-3114

経営者の悩みを解決する無料相談会を開催

日時　10月12日（土）午後2時～午後4時

場所　白河商工会議所

対象　県南地域で事業を営む中小企業など

内容　経営や創業、法律、特許など、専門家があらゆる経営課題に対応します。

問 白河商工会議所中小企業相談所☎0248-23-3101

地球温暖化防止のため活動推進員を募集

県では、地球温暖化の現状や影響、対策などについて学習し、地域の人たちが理解を深めるような活動を行う「うつくしま地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修会を開催します。

日時・場所　11月1日（金）午前11時～午後4時・郡山市総合福祉センター（郡山市）／11月2日（土）午前11時～午後4時・杉妻会館（福島市）

対象　地球温暖化防止活動推進員として温暖化防止の普及・啓発に取り組める方

受講料　無料

定員　各回50名（先着順）

申し込み　10月21日（金）までに県環境共生課へ郵送、ファックス、Eメールで申し込んでください。

問 県庁環境共生課☎024-521-7248／FAX024-521-7927／Eメール kyousei@pref.fukushima.lg.jp

募集

エコチルふくしまキャラクター名募集

福島県の子どもたちの健康と成長を見守るプロジェクト「エコチルふくしま」では、イメージキャラクターの名前を募集します。

募集内容　イメージキャラクターの3人家族、「子ども」とその「パパ」「ママ」の名前と命名理由

募集期間　10月11日（金）まで　※当日消印有効

応募方法　エコチルふくしまホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入し、郵送またはファックス、Eメールで応募してください。

問 県立医科大学エコチル調査福島ユニットセンター☎024-547-1449／FAX024-547-1448

October
10

㊡＝休日当番医　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター
[ト]＝農業者トレーニングセンター　[こ]＝こどもセンター

火	水	木	金	土
10/1 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	2 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●手・まめ・館休館日 ●やまぶきの会…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	3 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	4 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●たんがら作り教室…13:30～[公]	5
8 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●乳がん検診（マンモグラフィ）	9 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	10 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	11 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●やまゆり保育室[こ] ●たんがら作り教室…13:30～[公]	12
15 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	16 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●やまゆり乳児室[こ] ●献血 ●おはなしの森…16:00～[図]	17 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	18 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	19 ●壇の岡祭／鮫川中
22 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面）	23 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●やまぶきの会…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	24 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	25 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	26 ●さめっ子フェスティバル／鮫川小
29 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●子宮がん検診（午前のみ実施）[対象：西野、西山、中野]	30 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	31 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●芸術鑑賞教室…13:30～／鮫川中 ●村県民税などの納期限	11/1 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	2
5 ◆送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●子宮がん検診（午後のみ実施）[対象：東石、富田、渡瀬、青生野]	6 ◆送迎バス運行日（中野・東野方面） ●手・まめ・館休館 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～[図]	7 ◆送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面）	8 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	9

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

8月届け出分・敬称略

お誕生はありませんでした。

おくやみ

8月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
鍬木田	渡辺　寿	8.11	86歳

人の動き

9/2現在・〈　〉は前月比

人口	3,931人	（± 0）
男	1,972人	（± 0）
女	1,959人	（± 0）
世帯	1,164戸	（＋ 3）

寄付寄贈

8月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…渡辺光壽(鍬木田)

■**ひだまり荘に[紙おむつ]**…関根友安(水口)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■中学生の職場体験では広報紙づくりを体験してもらいましたが、取材や写真撮影、編集作業を2日間でこなすことは、大変だったかと思います。そのような中でも、中学生から前向きな感想を聞くことができて安心しています。今後の進路や将来の夢を考えるにあたって、今回の経験が少しでも役に立てばと思います。

■私自身はというと、人に伝えることの難しさを痛感する機会となり、中学生に気づかされたり学んだりすることが多く、貴重な経験となりました。　（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
6 ㊡あらまちクリニック(棚倉町) ☎33-8018 ●親子読書教室…10:00～[図] *第1日曜日は環境美化の日*	**7** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●乳がん検診
13 ㊡和田医院(棚倉町)☎33-2012	**14** 体育の日 ㊡東舘診療所(矢祭町) ☎46-3165 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●ヒーリング・ヨガ教室…19:00～[ト]
20 ㊡木村医院(矢祭町)☎46-3528 ●第26回高原の鮫川うまいもの祭り…9:30～／鹿角平観光牧場	**21** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●ヒーリング・ヨガ教室…19:00～[ト]
27 ㊡金澤医院(矢祭町)☎46-2312 ●学習発表会、ふれあい集会／青生野小	**28** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
3 文化の日 ㊡東白川中央病院(棚倉町)☎33-3263 ●第18回少年主張大会、第12回音楽発表会…9:00～[公] *第1日曜日は環境美化の日*	**4** 振替休日 ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468 ●図書館休館日 ●トレセン休館日

10 October 2013
平成25年10月1日発行（毎月1日発行）
第714号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村総務企画課特課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_06

萩原實さん　初枝さん

赤坂東野字大根屋敷在住／昭和37年４月結婚

結婚当初、大根屋敷には電気が通っていませんでした。嫁いだばかりの初枝さんは、ランプでの慣れない生活に苦労したといいます。

結婚生活50年の内には大変なこともありましたが、前向きに考えれば楽しい50年だったと振り返ります。料理が好きな實さんは、初枝さんの仕事帰りが遅ければ夕飯を作ってくれることもありました。２人でいろんな所に旅行に行ったり、お孫さんのバレーボールの応援に行ったりしたことがこれまでの楽しかった思い出です。

今はブロッコリーやモロッコインゲンを作って、手まめ館に出荷しています。いつまでも「健康第一」で暮らしていきたいと話してくれました。

こちら 村長室

▼しばらくぶりに感動する本に出会いました。第十回本屋大賞を受賞した百田尚樹著「海賊とよばれた男」。二十世紀の産業を興し、人を狂わせ、戦争の火種となった巨大エネルギー・石油。その石油を武器に変えて世界と闘った男、出光興産の創業者・出光佐三をモデルにした小説です。▼敗戦の夏、石油会社「国岡商店」を率いる国岡鐵造は何もかも失い、残ったのは多額の借金のみ。その上、石油会社大手から排斥され売る油もありません。しかし、国岡商店は社員一人たりとも解雇せず、たくましく再生していきます。国岡商店は創業以来、ただ一度も解雇がなく、店主の口癖は「店員は家族と同然である」でした。国岡商店の社是は「人間尊重」。就業規則もなければ出勤簿もなく、解雇もなければ定年もありません。異常なまでの結束力に圧倒されました。「努力する者は必ず救われる」と、心救われた本でした。

大樂勝弘